

活動レポート

日本技術士会北海道本部 社会活動委員会

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 千葉 裕

「キラキラ☆多技術士」OB を多数揃えての講演会となりました。 「技術士を知ろう！ in 北海学園大学」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2024 年度の活動第 5 弾は、北海学園大学社会環境工学科の 3 年生を対象に実施しました。

昨年からの担当であった所先生、安藤先生にもご協力頂き講演会を実施することが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

2. 実施概要

講演日時：2024.10.22(火) 10:50～12:10

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等
技術士の仕事内容と役割(講演 2 編)
土木・建築全般の仕事紹介

対象者：北海学園大学 社会環境工学科
3 年生計 47 名

参加者：小澤、千葉(記)(ミライ研 2 名)
須田、藤井、谷川(青技交 3 名)

3. 技術士資格の説明、制度概要等

北海学園大学での「技術士を知ろう！」では、まず小澤代表より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

今回の掴みネタもキムタク技術士だったのですが、やはり視聴者 0 人でした。汗 ここまでの戦績は 1 勝 3 敗です。「キラキラ☆多技術士まし× 2 大作戦！」遂行のためにも、そろそろ掴みの新ネタを考えなければならないかもしれません。

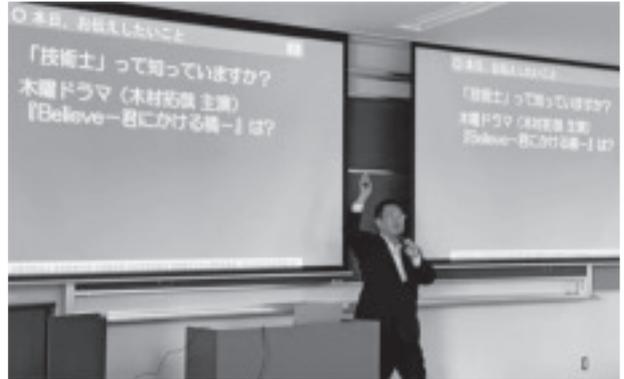


写真-1 学生達との距離間に悩む小澤代表

4. 技術士補の仕事内容と役割

(1) 技術士補の仕事(谷川技術士補)

まずは学園大 OB でもある谷川技術士補から、自身が関わってきた上水道の仕事紹介を行いました。

浄水場設計に携わる中で、当施設に関わる人全てに共通する目標である「設計コンセプトの設定」の重要性や、町が抱えている現状・課題の整理を行い、課題を解決する実現方策の提案について、実際の設計例を交えての説明となりました。

また、自身が JABEE を取得していたことで感じたメリットの他、学園大 OB の強みとして社長の出身大学ランキングや大学ブランド総合力が上位であり、強い繋がりがある事などを話してくれました。



写真-2 学生時代の〇秘エピソードを語る谷川技術士補

(2) 技術士の仕事(藤井技術士)

次も学園大 OB でもある日本データサービス(株)に所属する藤井技術士から講演を行いました。

具体的な仕事紹介は、自身が関わってきた函館市の「住宅マスタープラン」についてでした。学生達にはなかなか馴染みの無い分野の仕事だったのですが、難しい専門技術をわかりやすく伝えることで、学生達も藤井技術士が持つコミュニケーションスキルの高さを体感出来たのではないかと思います。

最後に後輩達へのメッセージとして、「キラキラ☆シオトナ」になるための3箇条を伝えていましたが、我々にもとっても良い刺激となりました。



写真-3 “キラキラ☆シオトナ”を体現する藤井技術士

5. 土木・建築全般の仕事紹介

講演最後も学園大 OB であり(株)ドーコンに勤務する須田技術士から土木や建築の業界全般を対象に2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介してくれました。

卒業後の進路について、須田技術士が所属する会社だからこそのスケール感で、土木や建築業界が自分達の将来の進路先になることがイメージして貰える講演だったと思います。



写真-4 左腕を負傷しながらの熱演となった須田技術士

6. 質疑応答

学生からの質問に回答する質疑応答では、谷川技術士補への質問として「職場での人間関係はどのように築きましたか」、「仕事をしながら資格を取るために勉強する時間は十分にありましたか」等の質問がありました。一方、藤井技術士には、「公務員と民間企業の良いところ、悪いところを教えてください」、「働き方改革が進むなか、土木・建設業界は改革が進んでいないと聞いたが、定時帰りはできるのか。残業時間や手当などを知りたい」といった、今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。



写真-5 学生からの質問に答えるOB達

7. まとめ

学生からの感想には「技術士、技術士補がどのような仕事をしているのか、本講演で深める事ができました」、「技術士へのイメージが変わったのが一番大きくて、その資格を持っていてもやる仕事は全く違ったりする面白さがあった」、「今回の講演を聞いて、土木の業界で働くなら技術士の資格を取得したいと感じた」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。

アンケートでは、有効回答数45人中35人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、47人中41人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

同アンケートの5段階評価では、今回講演の「わかりやすさ」が4.6、「満足度」が4.6と高評価をいただきました。

また、講演終了後には、所先生より次年度のオフアワーも頂きました。今から準備を進めます。笑